

## 2025 年度 第 6 期研修生選考試験

### 問 題

問1 次の（1）から（35）に記した記述で、正しいものに○、誤りに×をつけなさい。  
（70 点）

- (1) 梨状筋は股関節を外旋方向に動かす。
- (2) 大腿四頭筋には股関節を曲げる作用はない。
- (3) 腕橈骨筋には手首を伸ばす作用がある。
- (4) 仰臥位で頭を持ち上げる主動作筋は胸鎖乳突筋である。
- (5) 足背動脈が触知できるのは、長母趾伸筋腱と長趾伸筋腱の間である。
- (6) 上腕動脈は上腕二頭筋腱の内側で触知できる。
- (7) 大腿動脈は鼠径部の腸腰筋の外側で触知できる。
- (8) 上腕三頭筋がマヒすると腕立て伏せはできない。
- (9) アキレス腱が断裂するとつま先立ちはできない。
- (10) 上腕二頭筋が短縮すると肩関節の屈曲が制限される。
- (11) 中殿筋の筋力が弱くなると立脚期に反対側の骨盤が上がる。
- (12) 肩関節外転 180 度の時の肩甲上腕関節の外転角度は 120 度である。
- (13) 脊椎の回旋運動の可動域は胸椎より腰椎のほうが大きい。
- (14) 距腿関節では足関節の背屈と底屈が行われる。
- (15) 腱板が断裂すると肩関節の他動的な外転運動が制限される。
- (16) 腕神経叢の後神経束の障害では三角筋の筋力低下が生じる。
- (17) 骨粗鬆症による骨折は脊椎圧迫骨折が最も多い。
- (18) 手根管症候群では小指丘筋の委縮がみられる。
- (19) フォーク状変形は関節リウマチではみられない。
- (20) ヘバーデン結節は手指の DIP 関節にみられる。
- (21) 深腓骨神経マヒでは足関節の内反変形を認める。
- (22) 腱板断裂の範囲の把握には MRI を用いた検査が有用である。
- (23) 慢性気管支炎に対する呼吸器理学療法では口すぼめ呼吸が有効である。
- (24) 成人の膀胱の最大容量は約 1,200 mL である。
- (25) 伸張反射は二つのシナプスからなる反射である。
- (26) 咽頭反射は誤嚥防止のために主要な反射である。
- (27) 咳反射の求心性神経は横隔神経である。
- (28) 立毛筋の収縮は副交感神経の刺激で促進される。

- (29) 内肛門括約筋は随意収縮が可能である。
- (30) 一般的に高齢者の体温は小児よりも低い。
- (31) 線維芽細胞の増殖は急性炎症の特徴的な現象である。
- (32) 小児でも長期的な臥床により廃用症候群が発生する。
- (33) 慢性透析患者の死亡原因の第1位は心不全である。
- (34) 水欠乏性脱水では尿比重が低下する。
- (35) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の主な原因は喫煙である。

問2 次の(1)～(10)の文の( )内に当てはまる語句を入れなさい。(20点)

- (1) 肘部管症候群では( )神経の領域にしびれを認める。
- (2) 結髪動作に制限があるときは( )炎を疑う。
- (3) トーマステストが陽性のときは( )筋の短縮を疑う。
- (4) 中指伸展テストが陽性のときは( )炎を疑う。
- (5) 腱板を構成する筋は棘上筋、棘下筋、小円筋、( )筋である。
- (6) 加齢により体力・活動量が低下した状態を( )という。
- (7) 眼に光が入った時に瞳孔が反射的に縮小する反射を( )反射という。
- (8) サーカディアンリズムの周期は約( )時間である。
- (9) 曲垣穴に刺入した鍼尖は僧帽筋中部線維を貫いて( )筋に到達する。
- (10) 梁丘穴に刺入した鍼尖は( )筋に到達する。

問3 問欠跛行を訴える患者で推定される疾患を一つ挙げ、その病態機序を30文字以内で述べなさい。(10点)

## 小論文

鍼灸やマッサージの臨床において、セルフケアや生活指導を行うことの意義を400字以内で述べなさい。